

「ミャンマーのサイクロン災害 後の復旧活動支援及び教育 環境改善活動について」

ティンエイエイコ

THIN AYE AYE KO

ミャンマー

MYANMAR

ボランティア活動の始まり

震災当時に体験したことが、
母国に帰国してからのサイクロン災害
での救援・支援活動にどのように

- 生かされているのか
- 自分自身の活動に影響を与えたか

本発表の内容

- ミャンマーのサイクロン災害後の復旧活動支援、住居と生活環境支援、教育環境改善などの活動について
- 災害体験を語り継ぐこと重要性、展望と課題を考える



震災で右手の複雑骨折で神経が切れ
数回の手術を受けたエイさんと
修士入学式にて

震災で亡くなったルインさん
のお兄さん夫婦と名古屋の
日本ビルマ文化協会で震災当時
に
体験を語りました。



Bay of Bengal



学校建设

学校建设



ANDAMAN SEA

活動内容

支援団体： 神戸・ミャンマー皆好会
大阪中部ライオンズクラブ

1. ヤンゴン市内 (川向こう・ハンセン病村)
(食料・現金支援)
2. ピインサルー (食料・現金支援)
3. ピャーポン (食料・教材・医療支援)
4. トンティ (食料・現金支援)
5. デーダエー
(食料・現金・ビニール屋根・衣料支援)
6. コンチャンゴン (350万円)
(学校建設・マングローブ植林)
7. メイマラー島 マングローブ植林支援
8. ヤンゴン孤児院建設 (350万円)























ヤンゴン孤児院建設・支援





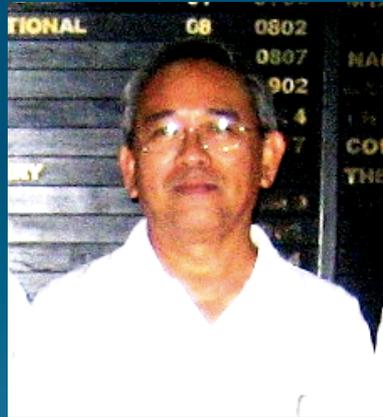
マングローブ植林と地域のために学校を作り機材を提供する活動もやっています



活動メンバー



自然保護活動家



映画監督



内務省OB



地下学生支援活動家



ハンセン病支援者



公務員OB

活動を通じて学んだこと

- 現地の状況は思ったより複雑で、思う様にいかないものである。そのため、あらゆる方面の活動する人々との連絡体制と協力関係が肝心である。
- 手ぶらになってしまい、家族も財産も全てを無くした人を見ると
どうしてあげたらいいか考え込んでしまうほど同情し、助け合いの精神を学ぶ貴重な経験ができた。
- このような大きいな被害はどこでも、どんなときでも起こりえる世界的な
自然の脅威である。防災活も平行して実施していかなければならない。
- 小学校を建てた海に面した村では、マングローブを植えていたお陰で

高波に飲まれずに済んだのである。そのため、植林活動も必